

NAC/BB/NM/NBBW

取扱説明書

機器を安全に使用するため、ご使用前に必ずお読みください。
取扱説明書は、ご使用になる方がいつでも見ることのできる場所に保管してください。

MADE IN JAPAN OM-C0381 003

この取扱説明書の適用機種： NAC - EC / ER4 / ER10 / ER16 / ER64
BB - EC / ER4 / ER10 / ER16 / ER64
NM - EC / ER4 / ER10 / ER16 / ER64
NBBW - EC / ER4 / ER10 / ER16 / ER64

使用目的

有資格者による歯科領域の治療にのみ使用してください。

⚠ 注意

- ・患者の安全を第一に考え、使用は十分に注意を払ってください。
- ・使用中、少しでも異常を感じたら使用を中止して、販売店までご連絡ください。
- ・取説に記載されていない改造・分解をしないでください。
- ・強い衝撃を与えないでください。特に落下させないように注意してください。
- ・”1.仕様”の許容入力最高回転速度を超えないようにしてください。
- ・ハンドピースの着脱は、マイクロモーターまたはエアモーターの回転が完全に停止してから行ってください。
- ・ガタ、振動、音、温度（発熱）に十分注意して、予め患者の口腔外で回転させ点検を行ってください。その時少しでも異常を感じたら、すぐに使用を中止し販売店までご連絡ください。（”5.使用前点検”参照）
- ・切削時は安全、健康のため保護眼鏡、防塵マスク等を着用してください。
- ・機器及び部品は、必ず定期的に点検を行ってください。（”9.定期点検”参照）
- ・長時間使用していない状態で再び本製品をご使用する際は、ガタ、振動、異音、発熱に注意して空回転させ、異常のないことを確認してからご使用ください。

1. 仕様

型式	NAC-Y	BB-Y	NM-Y	NBBW-Y
一般的名称	ストレート・ギアードアングルハンドピース			
販売名	コントラアングルハンドピース EXシリーズ			
認証番号	219ALBZX00006000			
許容入力最高回転速度（モーター）	30,000min ⁻¹	40,000min ⁻¹	30,000min ⁻¹	40,000min ⁻¹
使用バー	φ2.35mmコントラバー（JIS T 5504-1に規定された軸部形式1、国際規格 ISO 1797-1 Type1）			
バー装着長さ	13.2mm	13.7mm	10.6mm	12.7mm
バーの最大長さ	22.5mm	22.5mm	22.5mm	22.5mm
バーの最大作業部径	φ4.0mm	φ4.0mm	φ4.0mm	φ4.0mm

シャンク	EC	ER4	ER10	ER16	ER64
ギア比	1:1	4:1	10:1	16:1	64:1

2. ハンドピースの着脱

取り付ける際は、ハンドピースの位置決めを、モーターの位置決めに合わせてまっすぐ差し込みます。取りはずしは、モーター前部とハンドピース後部をしっかりと持ってまっすぐ引き抜きます。

⚠ 注意

- ・ハンドピースの着脱は、必ずモーターの回転が完全に停止しているのを確認してから行ってください。
- ・Eタイプ（JIS T 5904に規定されたジョイントを有する）、仕様にある許容入力最高回転速度以下のモーターと接続してください。

3. バーの着脱

⚠ 注意

バーの着脱は、必ずモーターの回転が完全に停止しているのを確認してから行ってください。

ラッチ板を回転させて開き、コントラバーの切り欠きと軸の形状を合わせて差し込みラッチ板を戻せばバーは装着できます。取りはずす時はラッチ板を開くことによりバーは開放されます。

⚠ バーについての注意

- ・曲がったバー、傷の付いたバー、変形したバー、規格に合わないバーは使用しないでください。これらのバーを使用しますと、回転中にいきなり曲がったり折れたりし危険です。また、ベアリングの早期破損や、ラッチの掛かる溝部が磨耗したりふくらんだりし、バーの取りはずしができなくなる原因になります。
- ・ご使用前にバーが安全に取り付けてあるかご確認ください。不完全な取り付けは、回転中にバーが抜けるおそれがあり危険です。
- ・バーの製造販売業者が指定している許容回転速度を守って使用してください。

4. 注水チューブの接続

■NBBW

注水チューブ（別売品）を適当な長さに切断し、エアモーターとヘッド横の注水ノズルに接続してください（図1）。

※チューブ（RSM）：製品番号Z166101

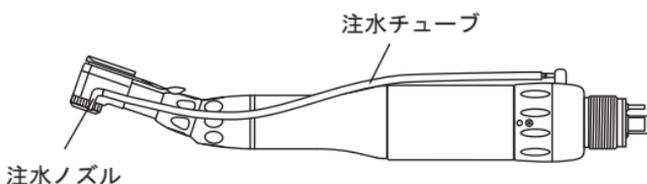


図1

■NAC/BB/NM

注水する場合は注水ノズル（別売品）をヘッドのクビに取り付けます。注水チューブを適当な長さに切断し、エアモーターに接続してください（図2）。

※注水ノズル チューブ付 NAC, BB用 : 製品番号C032701
注水ノズル チューブ付 NM用 : 製品番号C039701

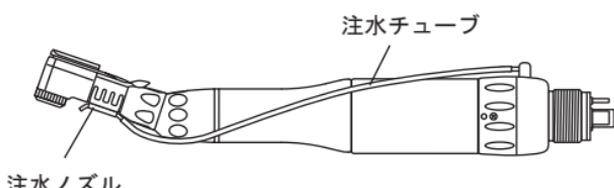


図2

5. 使用前点検

使用前に以下の手順で点検を行い、異常がないことを確認してから使用してください。異常を感じた場合は直ちに使用を中止し、販売店まで連絡してください。

- ①ヘッドのリング(図5)のゆるみがないことを確認してください。
- ②口金(図6)のゆるみがないことを確認してください。ゆるんでいる場合は、以下を行ってください。
NAC / BB / NBBW : 付属の口金レンチでしっかりと締め付けます。
NM : 販売店まで連絡してください。(カートリッジ交換できないため、口金レンチが付属されておりません)
- ③バーを取り付けます。
- ④口腔外で、ハンドピースの許容入力最高回転速度で約1分間回転させ、バーの振れ、振動、音に異常がないことを確認してください。
- ⑤ハンドピース停止後、ヘッド部に異常な発熱がないことを直接手で触って確認してください(図3)。

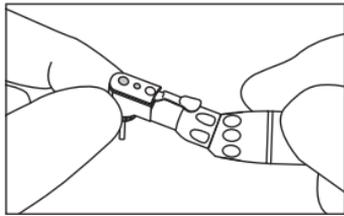


図3

⚠ 注意

- ・口金がゆるんだ状態で使用しないでください。その状態で使用すると軸のガタが発生し、口金の脱落や誤飲につながるおそれがあります。
- ・回転中はバーに手を近づけないでください。ケガのおそれがあります。

6. 注油

注油は使用後、またはオートクレーブ前には必ず行ってください。パナスプレープラスによる注油方法

- ①パナスプレープラスに、スプレーノズルを強く差し込みます。
- ②ハンドピースから、バーを取り外します。
- ③ハンドピース先端よりオイルが出るまで2～3秒スプレーします。注油は先端から異物等の汚れが出なくなるまで繰り返し行います。

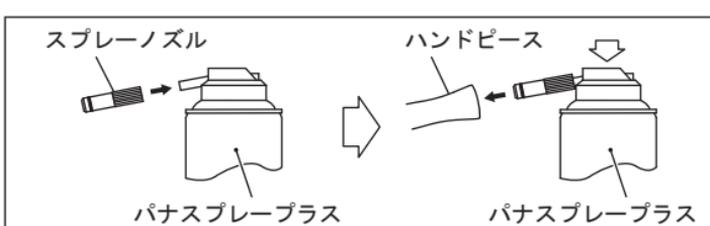


図4

⚠ 注意

- ・注油する際は、ハンドピースをしっかり押さえてスプレーの圧力によって飛び出さないように注意してください。
- ・スプレーは、ハンドピース先端よりオイルが出るまで2～3秒スプレーしてください。
- ・パナスプレープラスを逆さにして使用しないでください。

7. 滅菌

弊社では、滅菌についてはオートクレーブ滅菌を推奨しています。初めてご使用になる時及び、患者ごとの治療が終わりましたら、バーを取り外し下記のとおりオートクレーブ滅菌を行ってください。

■オートクレーブ滅菌方法

- ①表面の汚れをブラシ(金属製は不可)等で払い落とし、消毒用アルコールを含ませた綿で拭き取ります。
- ②パナスプレープラスにより注油します。(“6.注油”についてを参照)
- ③オートクレーブ用パウチに入れ封印します。
- ④135℃までの温度でオートクレーブ滅菌を行います。
例) 121℃で20分間、または132℃で15分間
- ⑤使用するまでパウチにいれたまま、清潔な状態を保てる場所に保管してください。

⚠ 注意

- ・酸化電位水(強酸性水、超酸性水)、または滅菌液で、洗浄、浸漬、拭き取りは行わないでください。
- ・保管の際は気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオン分を含んだ空気などにより悪影響が生ずるおそれなおない場所に保管してください。
- ・滅菌直後は高温となっていますので触れないようご注意ください。

8. カートリッジの交換方法(NAC / BB / NBBWのみ)

- ①ヘッドのリングをゆるめ図5のように取りはずします。



図5

- ②付属の口金レンチを用い図6のように掛け矢印の方向に回し口金をとりはずします。

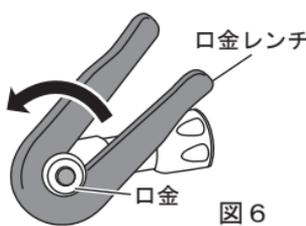


図6

- ③バー等を用いヘッドよりカートリッジを押し出し取りはずします。この時、ヘッド内部が汚れている場合はパナスプレープラスを吹きつけ内部を掃除します。

- ④新しいカートリッジの位置決めピンとヘッドの溝を合わせて挿入します(図7)。

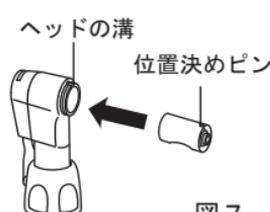


図7

- ⑤分解時の逆の手順で各部を取り付け、口金を口金レンチでしっかりと締め付けます。

- ※カートリッジ NAC用 NAC-03 : 製品番号C030011
 カートリッジ BB用 BB-03 : 製品番号C037015
 カートリッジ NBBW用 NBB-03 : 製品番号C210015
 口金レンチ(黒) : 製品番号C071751
 ミドルギア NAC-02 : 製品番号C032012

9. 定期点検

本製品の定期点検は、以下の点検表に基づき、使用前点検とは別に3ヶ月毎に行ってください。点検項目に異常が見られる場合は、販売店まで連絡してください。

点検項目	点検内容
リングのゆるみ	ヘッドのリングがゆるんでいないか確認してください。
口金のゆるみ	口金がゆるんでいないか確認してください。
回転	ハンドピースを回転させ、バーの振れ、振動、音、発熱等の異常なく回転するか確認してください。

